【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2003-116801(P2003-116801A)
【公開日】平成15年4月22日(2003.4.22)
【出願番号】特願2002-189076(P2002-189076)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｂ　5/0245
　Ａ６１Ｂ　5/0205
　Ａ６１Ｂ　5/0215
　Ａ６１Ｂ　5/0452
　Ａ６１Ｂ　5/145
　Ｇ０６Ｆ　17/60
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｂ　5/02　３２１Ｔ
　Ｇ０６Ｆ　17/60　１２６Ｈ
　Ａ６１Ｂ　5/02　Ｄ
　Ａ６１Ｂ　5/02　３３１Ａ
　Ａ６１Ｂ　5/14　３１０
　Ａ６１Ｂ　5/04　３１２Ｕ
　Ａ６１Ｂ　5/02　３２１Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月24日(2005.6.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の生理学的データ源（１２、１４）から生理学的データを選択するシステム（１０）であって、ある生理学的特性の第一の測定値を含む第一の生理学的データを供給するように構成されている第一の生理学的データ源（１２）と、前記生理学的特性の第二の測定値を含む第二の生理学的データを供給するように構成されている第二の生理学的データ源（１４）であって、前記第一の測定値及び第二の測定値は異なる生理学的性質に基づいている、第二の生理学的データ源（１４）と、前記第一及び第二の生理学的データを受け取って、前記第一の生理学的データ及び前記第二の生理学的データの少なくとも一方に基づいて前記生理学的特性についての出力データとして前記第一の測定値及び前記第二の測定値の一方を選択するように構成されている選択アルゴリズム（２０）とを備えたシステム（１０）。
【請求項２】
前記出力データを受け取って、該出力データと所定の警報条件とを比較して、該比較に基づいて警報信号を供給するように構成されている警報アルゴリズム（２８）をさらに含んでいる請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
前記第一の生理学的データは、前記生理学的特性の前記第一の測定値の統計関数をさらに含んでいる請求項１又は２に記載のシステム。
【請求項４】

不整脈検出アルゴリズムの精度を改善するシステム（１０）であって、心電図（ＥＣＧ）センサ（１６）から心電図信号を受け取って、該受け取った心電図信号に基づいて心電図心拍数データを生成するように構成されている心電図データ源（５４）と、前記心電図心拍数データを受け取って、不整脈状態を検出するように構成されている不整脈検出アルゴリズム（５４）と、血行動態的心拍数センサ（１８、２４）から信号を受け取って、該受け取った信号に基づいて血行動態的心拍数データを生成するように構成されている血行動態的心拍数データ源（５６、５８）と、前記心電図心拍数データ及び前記血行動態的心拍数データを受け取って、前記検出した不整脈状態及び前記血行動態的心拍数データに基づいて警報信号を供給するように構成されている警報アルゴリズム（２８）とを備えたシステム（１０）。

【請求項５】

前記不整脈検出アルゴリズムにより不整脈状態が検出されたときに、前記警報アルゴリズム（２８）は、前記血行動態的心拍数データが不整脈状態が存在しないと指示している場合には前記警報信号を防止するように構成されている請求項４に記載のシステム。

【請求項６】

前記血行動態的心拍数データ源は侵襲性動脈血圧（ＩＢＰ）センサ（１８）又はパルス・オキシメトリ（SpO_2）センサ（２４）から信号を受け取る請求項４に記載のシステム。

【請求項７】

心拍数限度警報の精度を改善するシステム（１０）であって、第一のセンサ（１６）から第一の信号を受け取って、該第一の信号に基づいて第一の心拍数を生成するように構成されている第一の心臓信号源（１２）と、前記第一のセンサ（１６）とは異なる生理学的性質を監視する第二のセンサ（１８）から第二の信号を受け取って、該第二の信号に基づいて第二の心拍数を生成するように構成されている第二の心臓信号源（１４）と、前記第一及び第二の心拍数を受け取って、両心拍数のうち最も正確な方を判定して、両心拍数のうちの前記最も正確な方が所定の限度外にあるときにのみ心拍数限度警報信号を発生するように構成されている警報アルゴリズム（２８）とを備えたシステム（１０）。

【請求項８】

前記警報アルゴリズム（２８）は、前記第一の心拍数が所定の心拍数を上回る心拍数まで上昇しており、且つ前記第二の心拍数が実質的に一定に留まっているときに、前記最も正確な心拍数として前記第二の心拍数を選択するように構成されている請求項７に記載のシステム。

【請求項９】

複数の生理学的データ源（１２、１４）から生理学的データを選択する方法（７０）であって、ある生理学的特性の第一の測定値を含む第一の生理学的データを供給する工程（７４）と、前記生理学的特性の第二の測定値を含む第二の生理学的データを供給する工程（７２）であって、前記第一の測定値及び前記第二の測定値は異なる生理学的性質に基づいている、第二の生理学的データを供給する工程（７２）と、前記第一の生理学的データ及び前記第二の生理学的データの少なくとも一方に基づいて前記生理学的特性についての出力データとして前記第一の測定値及び前記第二の測定値の一方を選択する工程（７８）とを備えた方法（７０）。

【請求項１０】

前記出力データと所定の警報条件とを比較する工程と、該比較に基づいて警報信号を供給する工程とをさらに含んでいる請求項９に記載の方法。